

先進地紹介

# 前橋市における官民連携まちづくりの取り組みについて ～アーバンデザインによる民間主体のボトムアップ型まちづくり～

笠間市都市建設部都市計画課 主事 宮崎 納央人

## はじめに

「前橋市における官民連携まちづくりの取り組みについて」を視察テーマとし、令和6年11月1日に茨城県都市計画協会主催の先進地視察に参加しました。現地では前橋市のご担当者様より、取り組み内容のご説明およびご案内をいただきました。

## 群馬県前橋市の概要

群馬県の県庁所在地である前橋市は、人口約33万人、東京から約100kmの距離に位置する中核市です。市域は約311km<sup>2</sup>で、関東平野の北西端に広がる市街地には利根川が流れ、市内北部の赤城山麓をはじめとして緑豊かな自然が広がっており、土地区画整理事業によって基盤が整備された良好な市街地環境と恵まれた自然環境が調和した都市です。

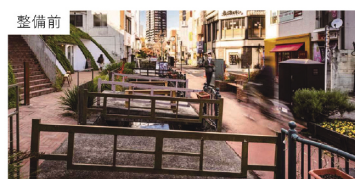
## 前橋市アーバンデザインの策定

「前橋市アーバンデザイン」は、前橋市中心市街地の再生を目的としたまちづくりの指針です。人口減少や地方行財政の逼迫の中で、行政主体のまちづくりには限界が見え始めていたことから、民間主体のまちづくりを推進するため2019年に策定されました。市民や企業、行政が自主的に地域の課題を捉え、連携して課題解決に取り組むことを目指しています。この取り組みが評価され、2020年に第2回先進的まちづくり大賞において、最高賞である国土交通大臣賞を受賞しました。



## 馬場川通りのまちづくり

馬場川通りは、「馬場川通りアーバンデザイン・プロジェクト」により、車道と遊歩道を一体的に整備した約200mの通りです。整備前は車道と遊歩道が緑石により分断され、河川も大きな柵で見えにくい状況でしたが、柵にテーブル機能をもたせ、親水性を向上させました。



▶ 車道と歩道が緑石で分断

視認性を阻害していた柵に  
テーブル機能を追加



MDCが発行した広報誌「MAEBASHI TIMES」

この整備を担ったのは、都市再生推進法人である「前橋デザインコミッション（MDC）」です。MDCは「前橋市アーバンデザイン」の実現に向け設立された民間まちづくり団体で、ワークショップの実施などを通して沿道の関係者と一緒に新たなまちの使い方の実践に取り組んでいます。

さらに、前橋市に拠点を置く企業家有志が2017年に結成した「太陽の会」は、このプロジェクトに3億円を寄付し、整備費用の一部として活用されました。

## ◆白井屋ホテル



江戸時代から300年の歴史を誇っていた白井屋旅館は、2008年に廃業し、マンションへの建て替えが計画されていましたが、「太陽の会」の会長であるジンズホールディングスCEOの田中仁氏らの働きかけで方向転換し、2020年に新しいランドマークである白井屋ホテルとしてリニューアルされました。



## ◆馬場川パブリックトイレ

変電装置を建物内に隠し  
デザイン性を高めています



デザインは、白井屋ホテルの客室のデザインを担当した英国のデザイナー、ジャスパー・モリソン氏が手がけており、川沿いの木製デッキやテーブルと調和する

木造のデザインとなっています。日常管理は都市利便増進協定に基づき、「馬場川通りを良くする会」という民間団体が担っています。

## □広瀬川河畔のまちづくり

前橋市の中心を流れる広瀬川では、心地よい空間の創出を目指し、河畔の高質化を進めています。その取り組みとして、生糸産業の歴史を継承するために、レンガを活用した歩車道整備などのまちづくりを行っています。

また、河畔緑地の公共空間を活用したトライアルサウンディングによる需要調査を行いながら、周辺のにぎわいづくりに向けた取り組みを実施しています。



## ◆前橋レンガ・プロジェクト



前橋市とMDCの官民連携事業で、都市再生と地域活性化を目的としたプロジェクトです。名前を刻んだレンガを敷き詰めることにより、参加者が市とつながりを感じ、地域コミュニティの結束力を高めています。

## ◆太陽の鐘



世界的芸術家の岡本太郎氏による幻の作品「太陽の鐘」が、日本通運株式会社から前橋市に寄贈され、「太陽の会」によって修復されました。官民連携によって、広瀬川河畔緑地の市民活動の新たなシンボルとして再生されました。

## □リノベーションによるまちづくり

### ◆遊休不動産

前橋市は持続可能な都市再生と地域活性化を目的として、遊休不動産の有効活用に積極的に取り組んでいます。この取り組みは、地域の魅力を高め、経済活動を活性化させるとともに、コミュニティの発展を目指しています。



2024年にはしのめ信用金庫との連携協定を締結し、遊休不動産の有効活用を目的としたプロジェクトを共同で推進しています。また、信

金利用者以外でも利用可能なライブラリーを土日祝も開放し、学生の学習スペースやコワーキングスペースとして活用されています。

### ◆前橋デザインプロジェクト



このプロジェクトは、「一般社団法人前橋まちなかエージェンシー」という民間団体によって行われました。長年空き店舗のままであった敷

地に対し、異なる建築家・オーナーによる計画に赤レンガの使用という共通のデザインコードを与えることで、個性を発揮しつつ、まとまりのある魅力的な境界を生み出しています。

## ■おわりに

前橋市が取り組んでいる、デザインと地域資源の有効活用を融合させた官民連携による先進的なまちづくりに触れることができ、非常に充実した研修となりました。特に、行政として支援しながらも、公共事業の権限を相手に委ねるという決断をしている点が印象に残っています。これらの取り組みを参考にし、当市においても地域特性を生かしたまちづくりを行っていきたいと考えています。